

戦後80年磐田市平和イベント プログラム

磐田市平和イベント（1階 多目的ホール 13:00~16:30）

開会（13:00）

◆第1部 戦争体験者・被爆体験者から学ぼう（13:10~）

- (1)磐田市戦争体験者の講話 尾崎 宜秀さん（45分）
- (2)広島市被爆体験者の講話 佐々木 雅弘さん（45分）

◆第2部 平和についてともに考えよう（14:40~）

発表団体・発表者	内容
令和7年度広島派遣事業参加者	広島派遣の報告及び平和の誓いの発表
安田女子中学高等学校生徒会	安田女子中学高等学校の取組について （リモート発表）
向陽中学校生徒代表	被爆桜について
過去の広島派遣事業参加者 （令和5年度~6年度参加者）	平和の想いを継承するために私たちにできること
磐田平和委員会・市民の平和展磐田 実行委員会	年間を通した平和活動について
緑十字機不時着を語り継ぐ会	活動報告について
磐田南高校定時制生徒会平和ゼミ	広島報告及び学校での活動報告

市長あいさつ（16:20）

閉会（16:30）

展示会（1階 第1会議室及びエントランスホール 12:30~16:00）

◆平和パネル展の実施

広島長崎原爆パネルなど平和に関するパネルを展示しています。開会前や休憩の際にぜひご覧ください。

平和への想いを込めた折り鶴を佐々木禎子さんへ届けよう

受付で折り紙を配布しています。皆様に折っていただいた鶴は、佐々木雅弘さんが禎子さんのお墓へ届けてくださいます。皆さんの平和の想いを届けましょう。（詳細は裏面をご確認ください）

講師 ^{おざき}尾崎 ^{よしひで}宜秀 さん



1935 年生まれ。見付国民学校（現磐田北小学校）出身者。1945 年 5 月 19 日、見付国民学校の児童ら 29 名が犠牲となった空襲を経験（当時 9 歳）。犠牲となった児童らと同じく側溝に隠れ、爆風でどこに飛ばされたか分からない友達もいる中、尾崎さんはぎりぎりのところで助かった。約 20 年前から自身の経験を伝える活動をしており、現在も毎年、磐田北小学校で戦争の悲惨さ・平和の尊さを伝える活動を続けている。

講師 ^{ささき}佐々木 ^{まさひろ}雅弘 さん

1941 年生まれ。広島市出身。広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの実兄。4 歳の時に、爆心地より 1.6 キロ地点で禎子さんと母、祖母とともに被爆。現在は、禎子さんの折り鶴の寄付や学校教育現場での講演活動などを通じて「まわりを想いやる心」の大切さを伝える活動を続けており、NPO 法人 SADA KO L E G A C Y の理事長を務めている。



～佐々木禎子さん～

佐々木禎子さんは 1943 年に生まれ、2 歳の時に被爆しました。運動の得意な元気な少女に成長しましたが、被爆から 10 年後に突然白血病であると診断され入院しました。

千羽鶴がお見舞いに贈られたことをきっかけに、「生きたい」という願いを込めて折り鶴を折り始めましたが、病からの回復を願いながらもかなわぬまま、8 か月の闘病生活の後、12 歳の短い生涯を終えました。禎子さんの死をきっかけに、原爆で亡くなった子どもたちの霊を慰め平和を築くための像をつくろうという運動が始まり、全国からの募金で平和記念公園内に「原爆の子の像」が完成しました。その後、この話は世界に広がり、今も「原爆の子の像」には日本国内をはじめ世界各国から折り鶴が捧げられています。



アンケートにご協力をお願いします！

本日受付で、アンケート用紙を配布いたしました。回答にご協力をお願いします。

WEB 回答はこちら↓



磐田市平和啓発ブックを作成しました！

市ホームページからご確認いただけますので、ぜひご覧ください。

市HPはこちら↓

